

令和4年度第1回大阪府子ども施策審議会子どもの貧困対策部会における
調査項目にかかる意見について

■実態調査		
委員	ご意見・質問	対応案
嵯峨委員	調査項目について、学習面のボリュームが大きいという印象。前回の府調査で聞いていた <u>健康面の調査項目</u> がなくてよいのか。	(子ども調査票) ・H28調査の問5(2)問6(2)「朝食・夕食を食べない理由」をNo,4、No,6に追加 ・No,31、No,32において、体や心の状態を聞く項目を設定 ・「学習成績がクラスの中でどのくらいだと思うか。」を削除
嵯峨委員	<u>部活動について、できれば文化部か運動部かを聞いてもらえたら</u> と思う。体育会系と文化部では経済負担が異なるという調査結果もある。	(子ども調査票) ・No.10「地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか」の選択肢について、H28調査をベースとした調査とするため、削除
嵯峨委員 滝本委員	ヤングケアラーについて、「 <u>家庭の仕事</u> 」は言葉が固いと思う。「No.29家庭の仕事をしてあなたに起こったこと」に対し、「そのことで健康に過ごすことができる」等が答えづらいのではないかと 思う。 <u>表現を検討</u> してほしい。	・「家庭の仕事」という表記から「お世話をしている」という表記へ変更 ・No,47において「お世話をしていることによって、次のようなことがあるか」という聞き方へ変更
嵯峨委員	性別について、(庁内照会で削除すべきという意見もあるが)ヤングケアラーについては、家庭でのジェンダーの問題、女子生徒が担いやすいことも先行研究で指摘されているため、 <u>選択肢は配慮した上で性別も確認</u> した方が良い。	・No,48に性別の設問を設定

委員	ご意見・質問	対応案
嵯峨委員	<p>保護者調査票No.31の新型コロナの影響について a) 世帯全体の収入の変化、b) 生活に必要な支出の変化等の選択肢が、増えた・減った・変わらないとなっているが、変化が増えたというのは違和感があるので、「変化」は削除した方がよいのではないか。</p>	<p>・3年以上前のことを聞くこととなり、記憶がいまいであるため、項目から削除</p>
横山委員	<p>子どもへの調査票について、表紙に、<u>回答することにより自身に不利益が生じることがないときちんと伝わるよう記載するなど、回答者への配慮が必要。</u></p>	<p>・調査票表紙に、調査の趣旨や他の人が見ないこと等について明記</p>
山野委員	<p>・「相談」という言葉では、自信が相談したいと思っていない、困っているという認識もないケースもあり、欲しい回答が得られないと思う。気軽に話せる場をたくさん持っていることが学力や心身の安定につながっているという結果が出ている。</p>	<p>子ども調査票 ・No.30「だれに相談しますか。（だれに話しますか）」という表記へ修正</p>
山野委員	<p>神戸市ではヤングケアラー支援として、宅配による食材提供、ヘルパー派遣（ひとり親や障がいのヘルパーにつなぐまでの間、迅速に派遣する）のサービス提供をしている。<u>集まって語る場も必要だが、具体的な施策を打ち出せるような調査項目も必要。</u> 施策メニューがあるかないか、ヒットしているか、どのようなニーズか聞けるとよい。</p>	<p>保護者調査票 ・No,31において支援ニーズを、No,38～で居場所の利用状況等を項目に盛り込むことにより、具体的なニーズを聞き取ることが可能であり、調査結果を踏まえて、支援策を検討していきたい。</p>